

新型コロナウイルス感染拡大による、 暮らしや心の変化と旅行に関する意識調査 (2023年3月実施)

2023年5月23日



株式会社 JTB 総合研究所

サマリー

- 2020年の調査開始以来、最も高い旅行意向。海外旅行は若い世代で、国内旅行は全世代で旅行を予定・検討している人が増加。海外旅行で求めるサービスは、「旅行前に必要な手続きを簡単に済ませられるサービスやサポート」

海外旅行

- ・ 全体では14.1%が海外旅行に行くと回答。最も意向が高いのは20代男性(28.7%)、次いで20代女性(27.6%)、30代男性(22.4%)。60歳以上男女は、海外旅行はまだ様子見。
- ・ 海外旅行の際に求める旅行商品やサービスは「手ごろなプランや宿泊施設がとれれば」、「旅行前に必要な手続きを簡単に済ませられるサービスやサポート」。

国内旅行

- ・ 44.6%が旅行に行くと回答。全ての性年代別で前回調査(22年12月)よりも上がる。これまで旅行意向があがらなかった40・50代でも旅行意向が上昇し、20代は男女とも50%を超えた。
- ・ ひとり旅が定着する一方、夫婦のみの割合が減少し、子ども連れや三世代の旅行など、多人数での家族旅行が増加傾向に。

- コロナ禍で感じていた閉塞感は軽減され、開放的な気分。節約しつつも、我慢していたことは復活したい。

- ・ 今後の旅行を増やす理由は「これまで我慢していた」、「後ろめたさを感じなくなった」。
- ・ 「多様な働き方が定着し、旅行へ行く時期を柔軟に選べるようになった(15.6%)」ことから、旅行の時期が分散する可能性も。

- コロナ禍で変わったことは「健康に気をつかうようになった」、「国内旅行への意欲が強まった」、「人と会うこと、人付き合いを億劫に感じるようになった」

- ・ 一方、「コロナ禍前と比べて変わったことはない」も15.7%。男性40代以上で特に回答率が高い。
- ・ 男性20代は「近所の店をよく利用するようになった」、「実際に体験したい気持ちが強まった」が他世代よりも高い。

予備調査結果

* 全国に居住する20歳以上の男女（性年代での均等割付）

■ 今後の旅行予定(国内旅行)

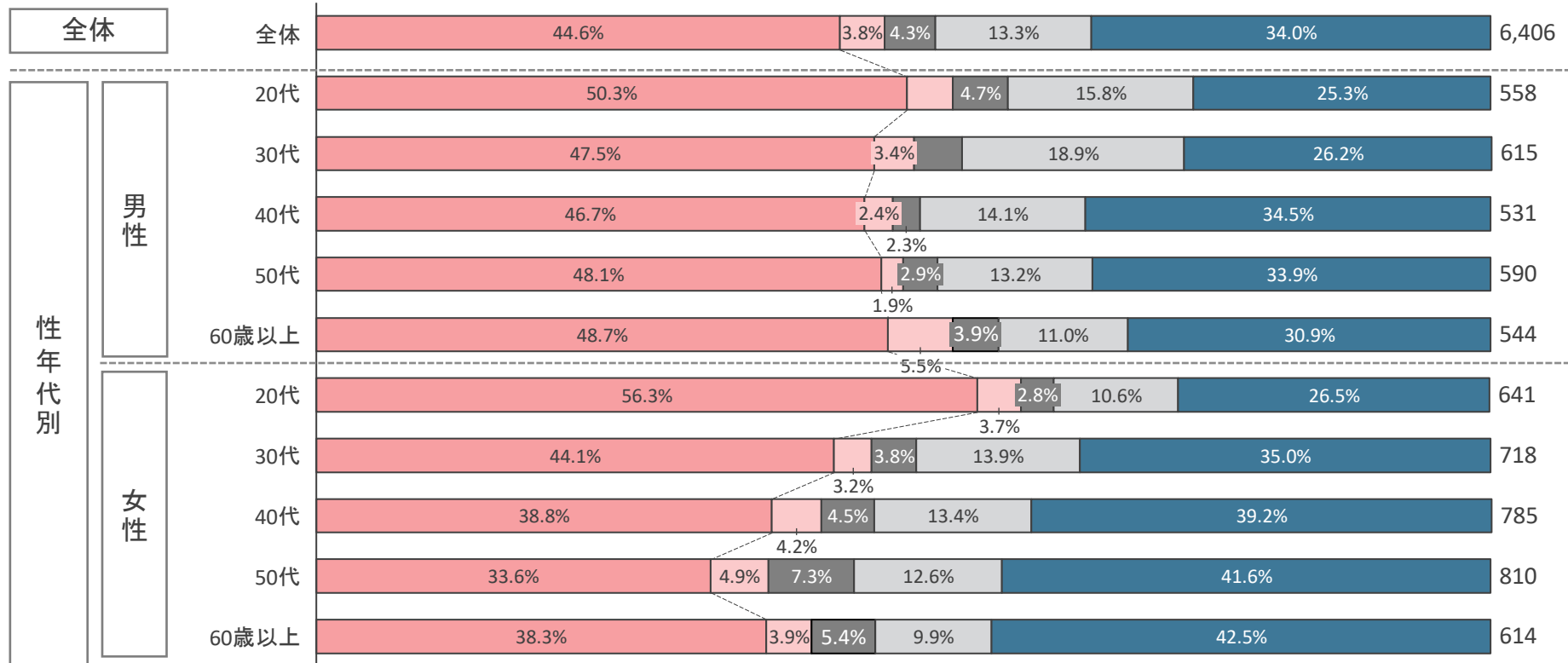
今後予定・検討している国内旅行の時期

- 今後、国内旅行を予定・検討しているかを聞いたところ、今後1年以内に予定・検討している人は全体で44.6%で2020年2月の調査開始以来、最も高い旅行意向となった

今後予定・検討している国内旅行の時期

■ 今後1年(23年4月～24年3月)に予定・検討している ■ 以前はこの旅行をしていたが、今後はしないと思う ■ わからない
■ 2024年4月以降に予定・検討している ■ 元々この旅行はしない

JTB総合研究所



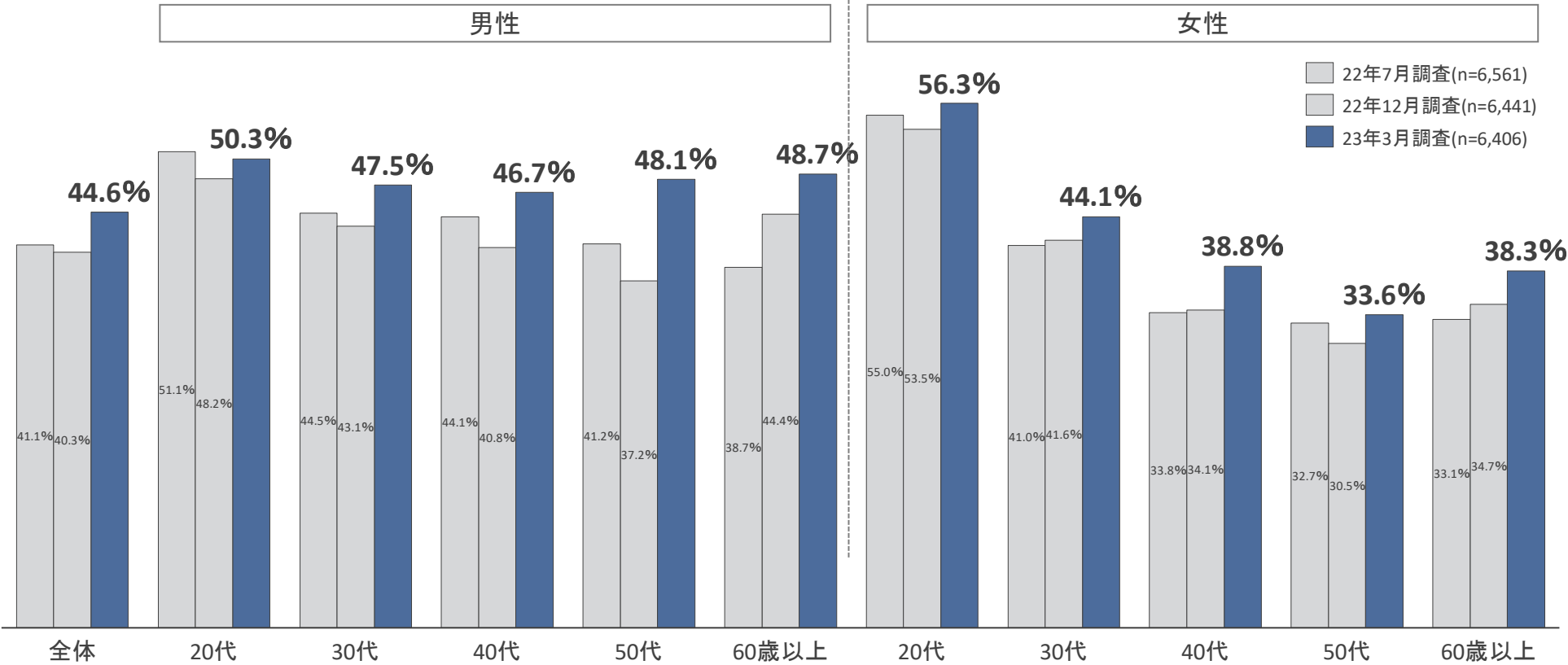
■ 今後の旅行予定(国内旅行)

今後1年以内に国内旅行を予定・検討している割合

- 全ての性年代別で前回調査(22年12月)よりも旅行意向が上昇。これまで旅行意向があがらなかった40・50代でも上昇傾向となり、20代は男女とも50%を超えた。

今後1年以内に国内旅行を予定・検討している割合(22年7・12月・23年3月調査比較)

JTB総合研究所



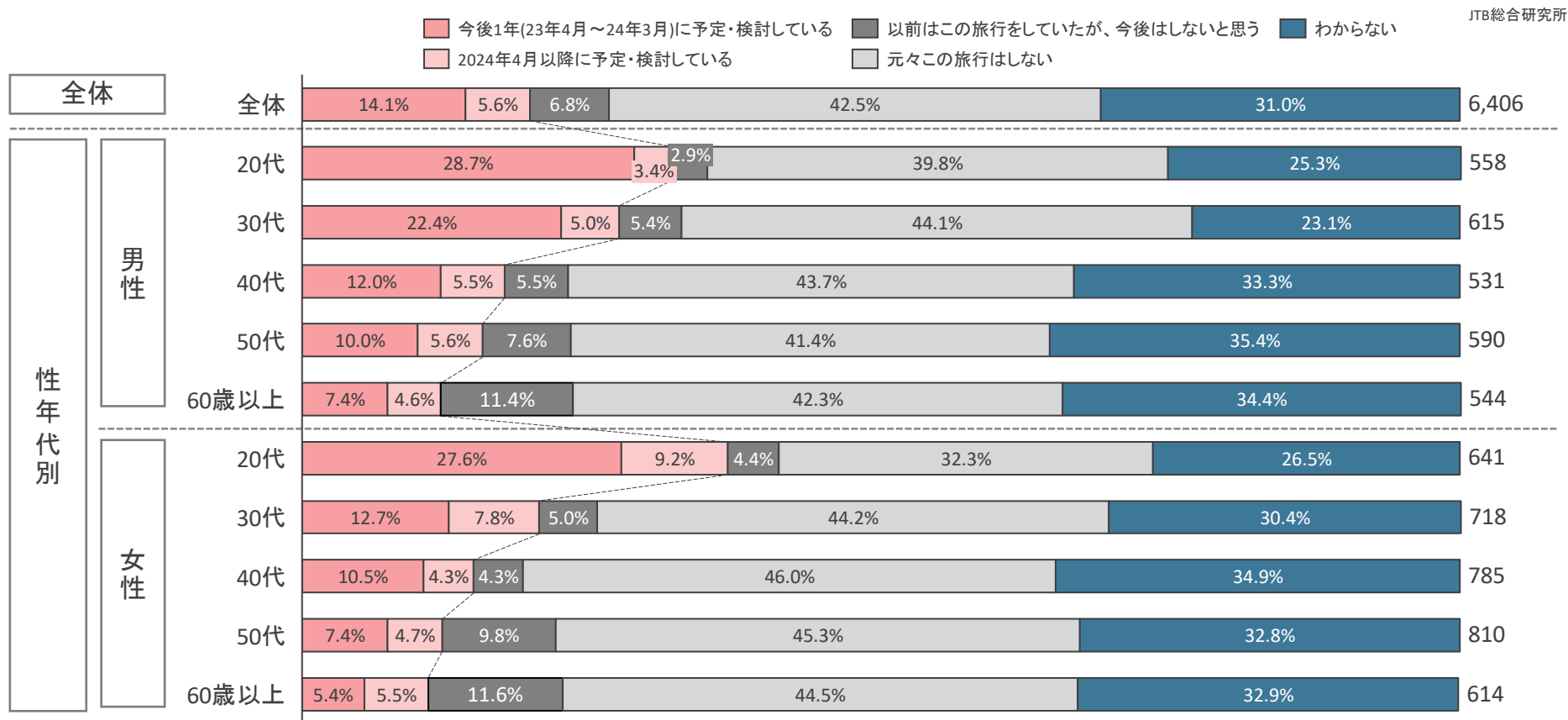
* 22年7月調査は22年8月～23年7月まで、22年度12月調査は23年1月～12月まで、23年3月調査は23年4月～24年3月までの国内旅行の予定

■ 今後の旅行予定(海外旅行)

今後予定・検討している海外旅行の時期

- 全体の14.1%が今後1年以内に海外旅行を予定・検討していると回答
- 水際対策の緩和など、以前に比べて海外旅行のハードルは下がったものの、60歳以上男女では11%以上が「以前はこの旅行をしていたが、今後はしないと思う」と回答

今後予定・検討している海外旅行の時期

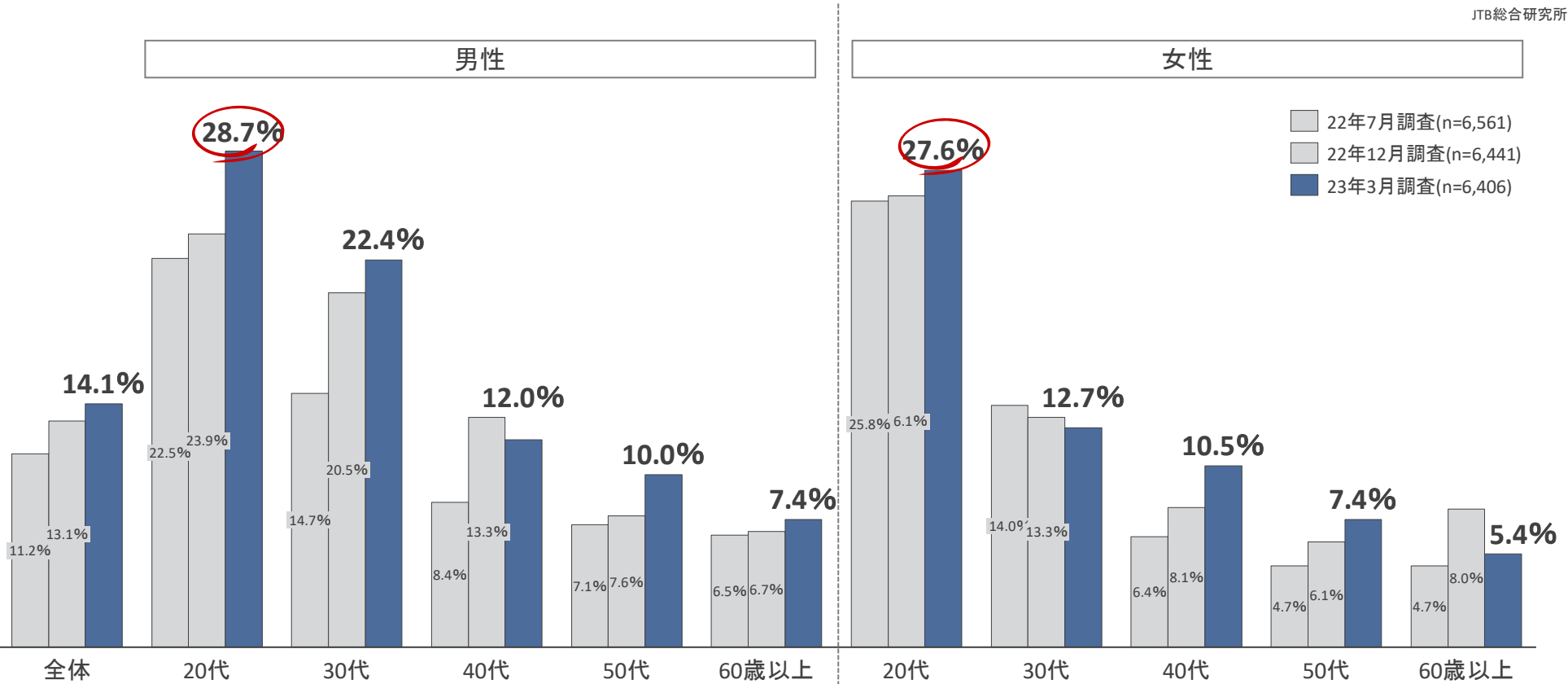


■ 今後の旅行予定(海外旅行)

今後1年以内に海外旅行を予定・検討している割合

- 今後1年以内の海外旅行意向が最も高いのは20代男性(28.7%)、次いで20代女性(27.6%)、30代男性(22.4%)。
- 60歳以上男女は、海外旅行はまだ様子見

今後1年以内に海外旅行を予定・検討している割合(22年7・12月・23年3月調査比較)



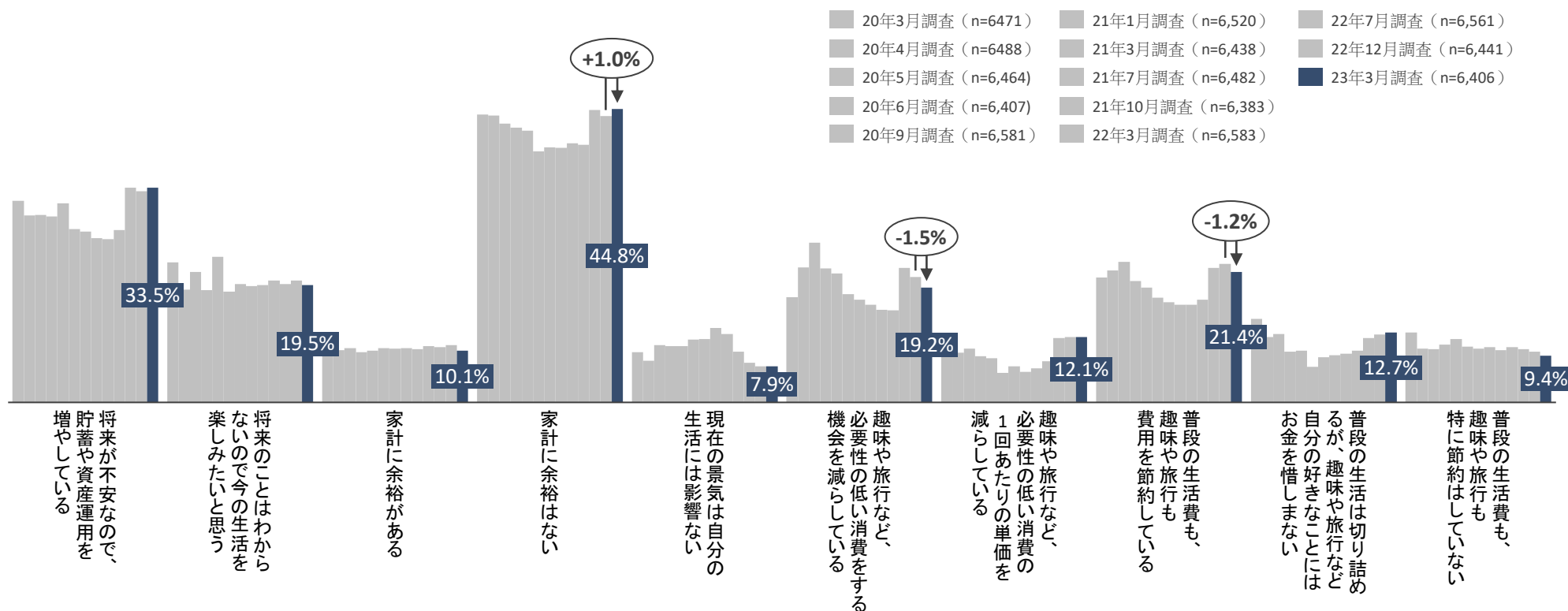
* 22年7月調査は22年8月～23年7月まで、22年度12月調査は23年1月～12月まで、23年3月調査は22年4月～24年3月までの海外旅行の予定

景況感の推移

- 「家計に余裕はない」が44.8%で最も高く、前回調査(22年12月)から微増した
- 一方、「趣味や旅行など、必要性の低い消費をする機会を減らしている」、「普段の生活費も、趣味や旅行も費用を節約している」はいずれも微減しており、節約しつつ、我慢していたことを再開したいという意向も読み取れる

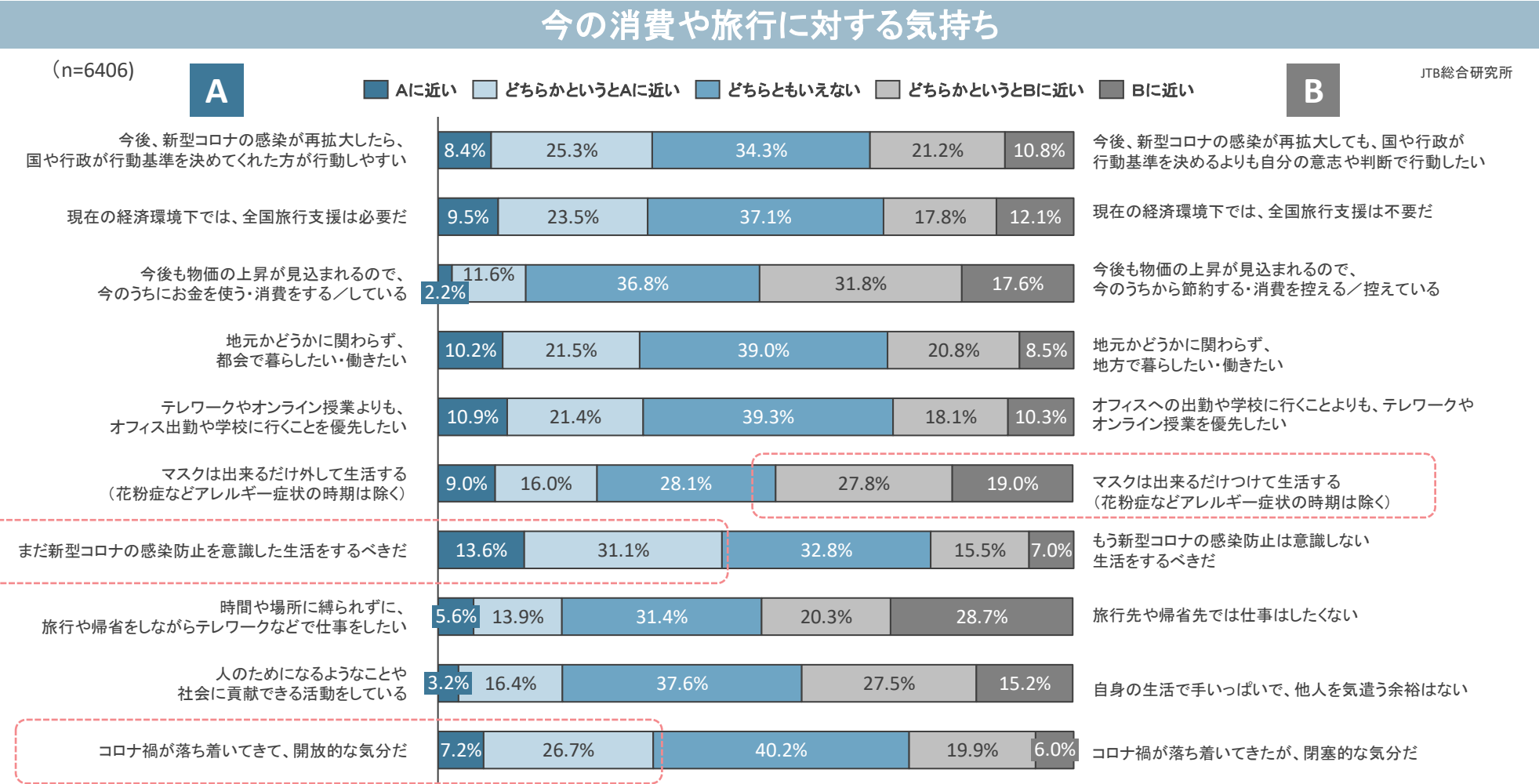
景況感(2020年3月～2023年3月調査比較)

JTB総合研究所



今の消費や旅行に対する気持ち

- 現在の消費や旅行について、AとB,どちらの気持ちに近いかを聞いた。コロナ禍に感じていたような閉塞感は軽減し、開放的な気分がみられる一方、まだ新型コロナの感染防止対策はしつつ、マスクはつけて生活したいという意向もみられた



今の消費や旅行に対する気持ち

- 「テレワークやオンライン授業よりも、オフィス出勤や学校に行くことを優先したい」(リアル優先)は、50代以上の男性で意向が強く、「オフィスへの出勤や学校に行くことよりもテレワークやオンライン授業を優先したい」(オンライン優先)は、20代男女、30代女性が他の世代と比べて高い。コロナ禍に学生生活を送るなど、オンラインでのコミュニケーションに慣れた世代と、リアルコミュニケーションに慣れた世代で、意向の違いがみられる

今の消費や旅行に対する気持ち(抜粋・性年齢別)

		A テレワークやオンライン授業よりも、 オフィス出勤や学校に行くことを 優先したい			B オフィスへの出勤や学校に行くこと よりも、テレワークやオンライン授業を 優先したい		
		n	Aに近い	どちらかという Aに近い	どちらとも いえない	どちらかという Bに近い	Bに近い
全体		6406	10.9%	21.4%	39.3%	18.1%	10.3%
男性	20代	558	5.9%	19.4%	41.4%	21.1%	12.2%
	30代	615	9.9%	19.8%	41.6%	19.3%	9.3%
	40代	531	12.1%	18.3%	42.9%	16.2%	10.5%
	50代	590	18.5%	22.5%	33.9%	15.8%	9.3%
	60歳以上	544	16.9%	18.9%	41.7%	12.3%	10.1%
女性	20代	641	6.6%	23.2%	36.5%	22.9%	10.8%
	30代	718	7.8%	21.9%	31.9%	23.8%	14.6%
	40代	785	11.1%	23.4%	33.5%	20.0%	12.0%
	50代	810	10.7%	23.7%	41.2%	15.9%	8.4%
	60歳以上	614	10.9%	20.4%	51.8%	11.7%	5.2%

JTB総合研究所

本調査結果

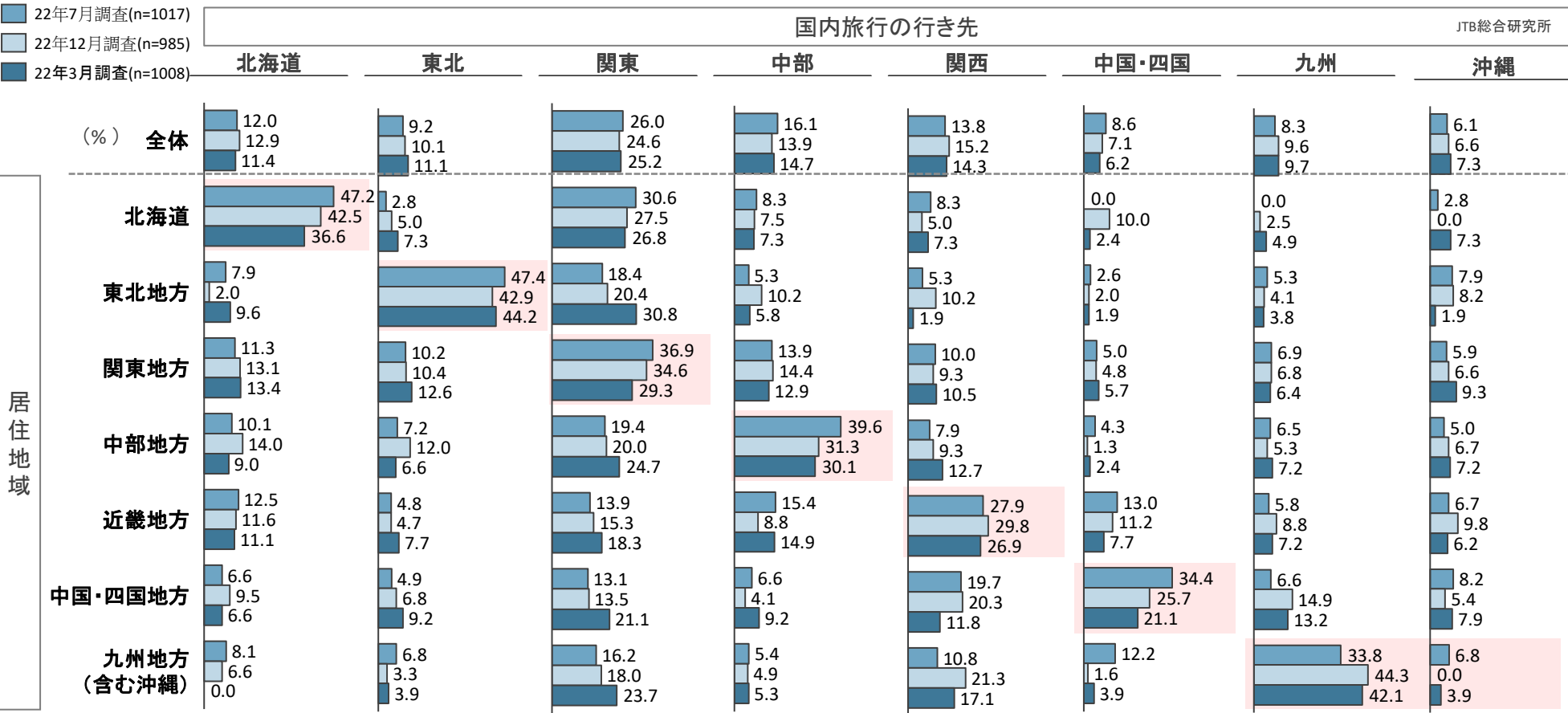
* 回答者: 今後1年間(23年4月～24年4月)に国内旅行を予定・検討している人

■ 具体的な旅行内容について

今後1年間に予定・検討している国内旅行の行き先

- 今回調査では、前回調査に比べて域内の旅行先の割合が減少し、徐々に域外の旅行先にも分散しつつある様子がみられる

今後1年間に予定・検討している国内旅行の行き先



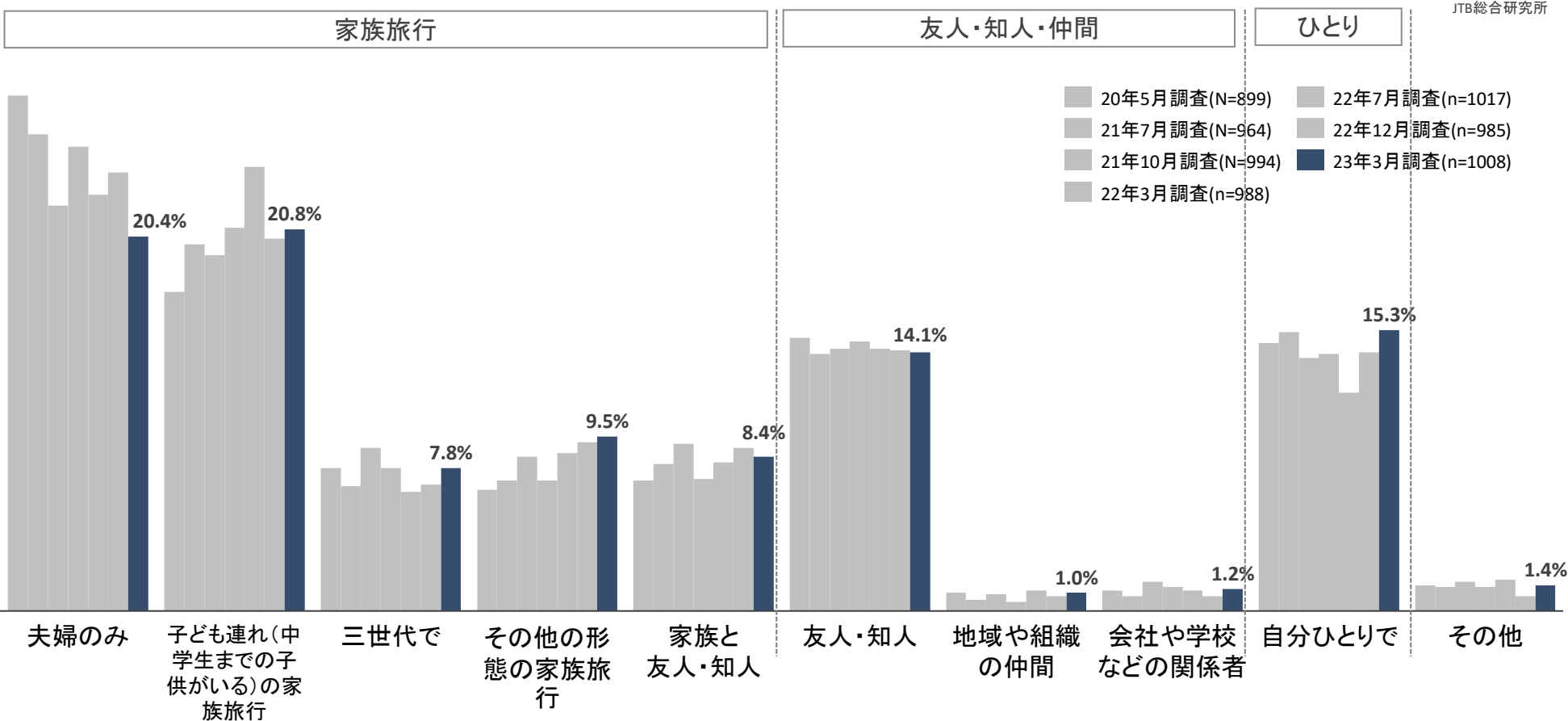
* 22年7月調査は23年7月まで、22年12月調査は23年12月まで、23年3月調査は24年3月に国内旅行を予定・検討している人

■ 具体的な旅行内容について

今後1年間に予定・検討している国内旅行の同行者

- ・ 今回調査では、夫婦のみの旅行の割合が減少し、子ども連れ(中学生までの子どもがいる)の家族旅行、三世代など、多人数の家族旅行の増加傾向がみられた。
- ・ 一方、「自分ひとりで」の旅行も一定のレベルを維持しており、コロナ禍で増加したひとり旅が、ある程度定着した様子が見受けられる

今後1年間に予定・検討している国内旅行の同行者



* 20年5月調査の回答者は2020年内、21年7月調査は21年7月～2022年6月、21年10月調査は21年10月～22年9月、22年3月調査は22年4月～23年3月、22年7月調査は22年8月～23年7月、22年12月調査は23年1月～12月、23年3月調査は23年4月～24年3月までの期間に国内旅行を予定・検討している人

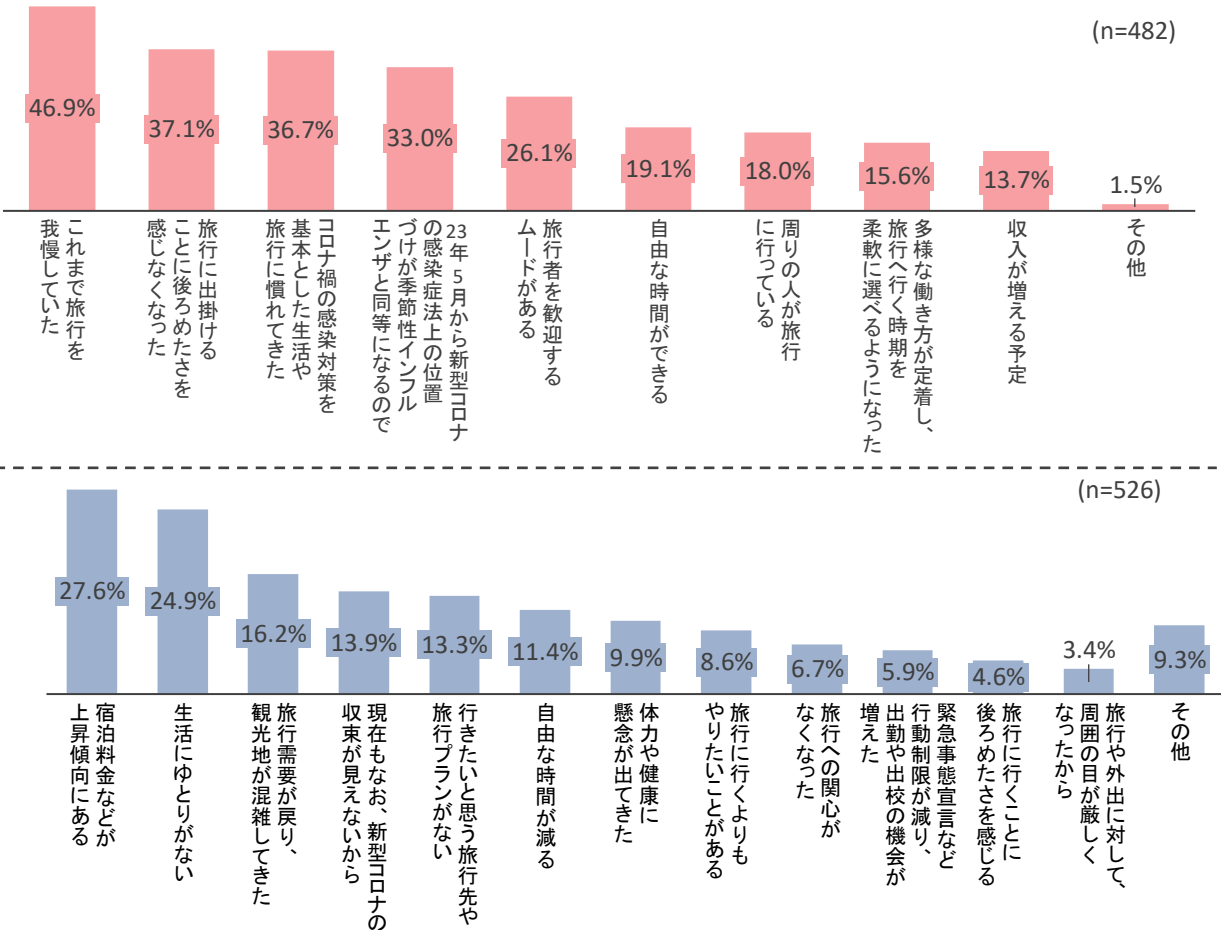
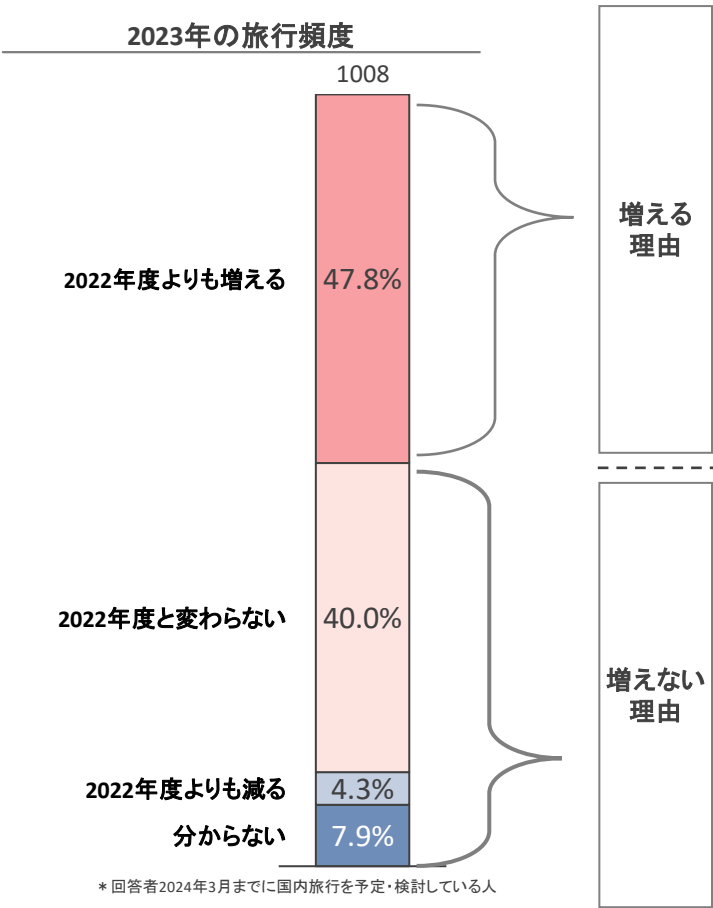
旅行が増える／増えない理由

- 「22年度よりも旅行が増える」との回答は47.8%で、増える理由としては、「これまで旅行を我慢していた」「旅行に出かけることに後ろめたさを感じなくなった」が高い。また、「多様な働き方が定着し、旅行へ行く時期を柔軟に選べるようになった」も15.6%あり、現役世代でも、オフシーズンに旅行するなど旅行の時期の分散が進む可能性も考えられる。
- 旅行が増えない理由は、経済的な要因の他、「旅行需要が戻り、観光地が混雑してきた」も高い

2023年の旅行頻度と旅行が増える／増えない理由

JTB総合研究所

(n=482)

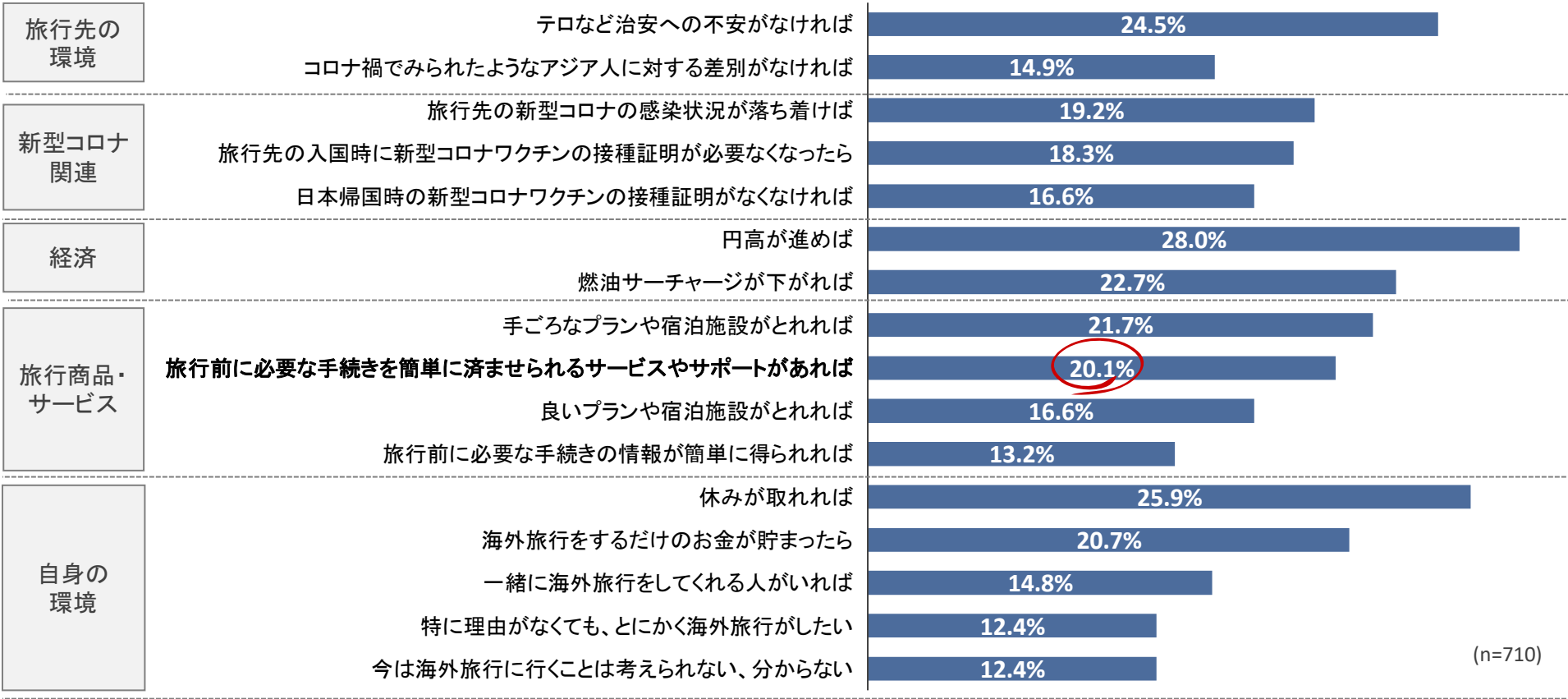


■ これからの旅行に人々が求めているもの

今後、どんな状況なら海外旅行をしたいか

- 「円高が進めば」が最も高く28.0%、次いで「休みがとれれば」(25.9%)となり、新型コロナへの不安よりも、為替の状況によるハードルが高いことが分かる。
- 海外旅行の際に求める旅行商品やサービスは、手頃なプランの他、「旅行前に必要な手続きを簡単に済ませられるサービスやサポート」が高い。

今後、どんな状況なら海外旅行をしたいか



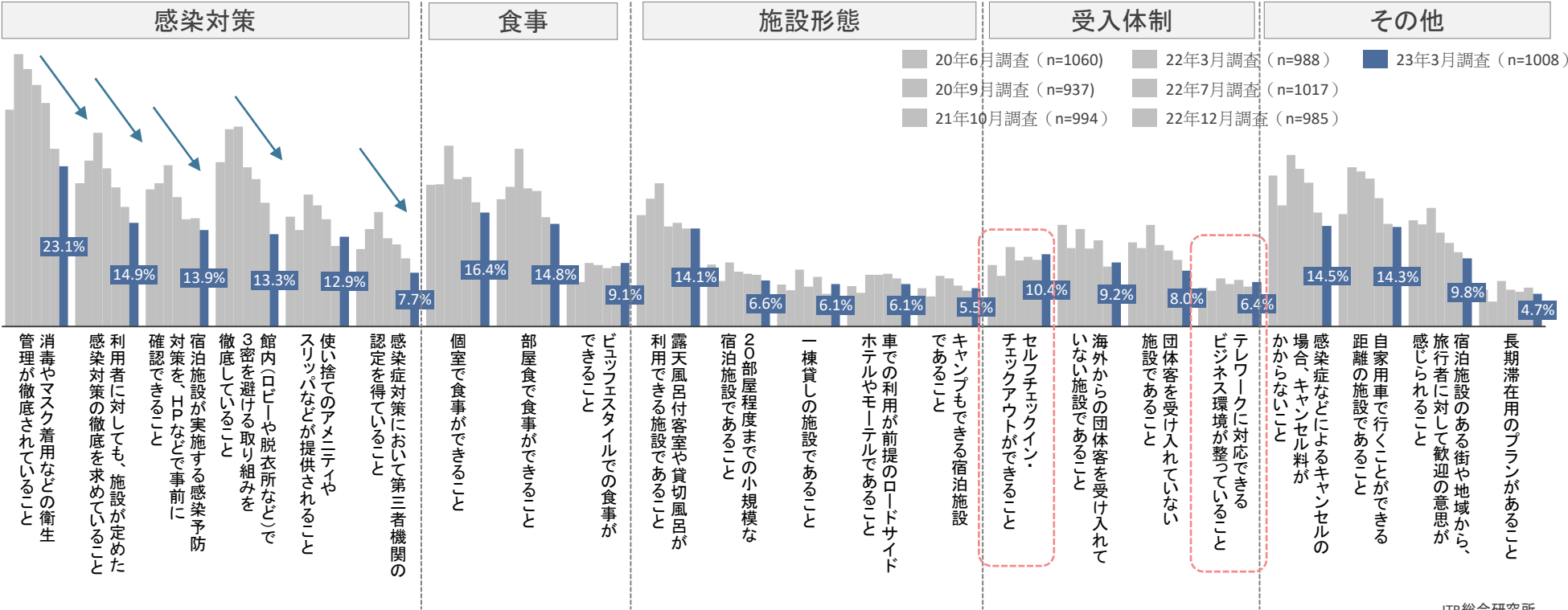
* 回答者は24年3月までに国内旅行を予定・検討している人(もともと海外旅行をしない人を除く)

■ これからの旅行に人々が求めているもの

国内の宿泊施設を選ぶ際に、より重視するようになったこと

- ・ 感染対策に関する項目のほとんどは2021年10月調査以降減少。食事について、一時期ニーズの大きかった「個室で食事ができる」、「部屋食で食事ができる」も前回調査よりも減少している。
- ・ 一方、大きくはないもののコロナ期間中も変わらず一定程度のニーズが見られたのは「テレワークに対応できるビジネス環境が整っている」、「セルフチェックイン・アウトができること」となった。

国内の宿泊施設を選ぶ際に、より重視するようになったこと



* 20年6月調査は2020年内に国内または海外旅行を予定・検討している、20年9月調査は2021年6月までに国内旅行を予定・検討している人、21年10月調査は22年9月までに国内旅行を予定・検討している人、22年3月調査は23年3月、22年7月調査は23年7月までに国内旅行を予定・検討している人、22年12月調査は23年12月まで、23年3月調査は24年3月までに国内旅行を予定・検討している人

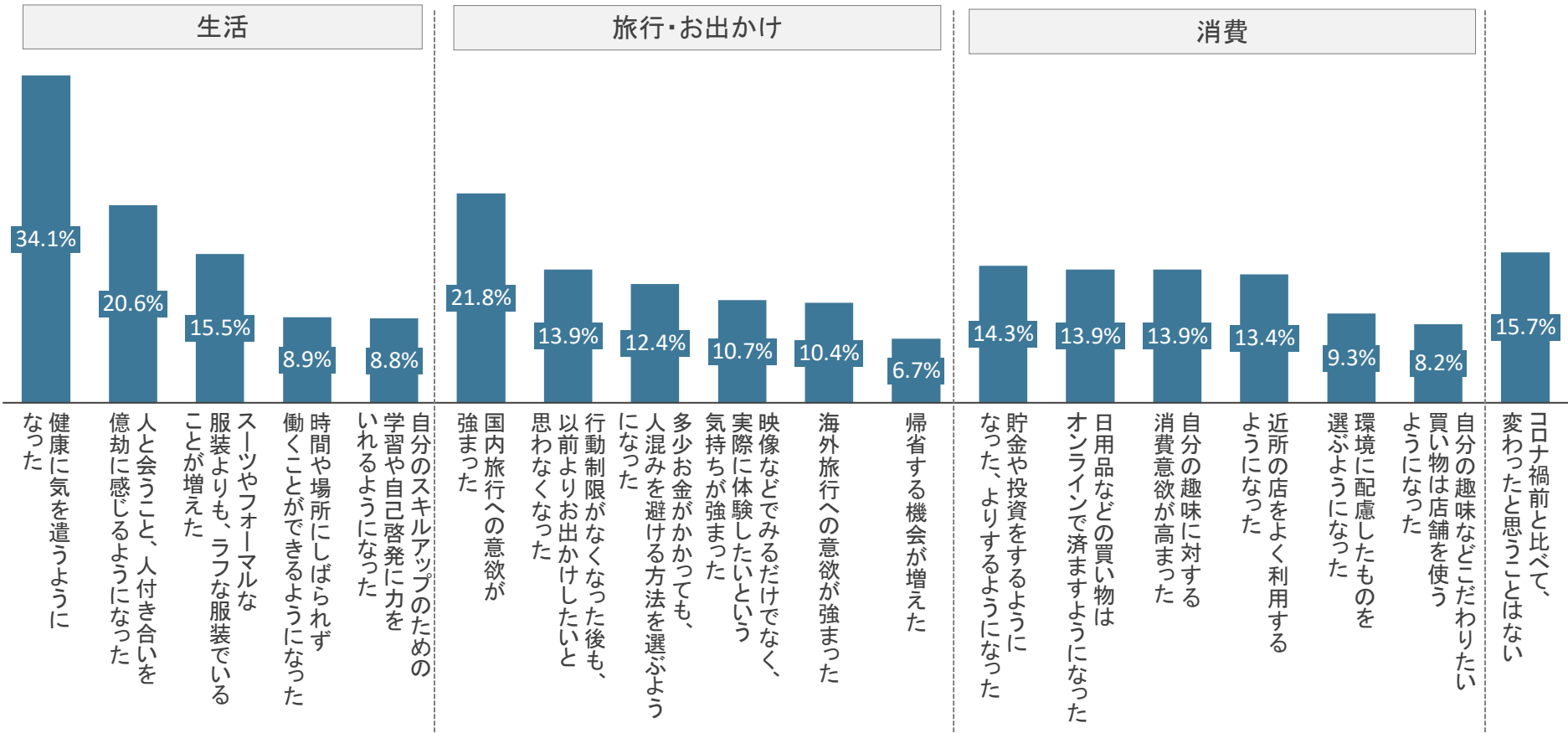
■ コロナ禍での変化

コロナ禍前と比べて変わったと思うこと

- 「健康に気を遣うようになった(34.1%)」、「国内旅行への意欲が強まった(21.8%)」、「人と会うこと、人付き合いを億劫に感じるようになった(20.6%)」の順に多い。「時間や場所にしばられず働くことができるようになった」が8.9%で、大多数ではないものの、コロナ禍前に比べて自由な働き方を選択できるようになった層もいることが分かる。
- 一方、15.7%が「コロナ禍前と比べて変わったと思うことはない」と回答している。

コロナ禍前と比べて変わったと思うこと

(n=1,008)



コロナ禍前と比べて変わったと思うこと

- 性年代別に上位5位をみると、すべての年代で「健康に気を遣うようになった」が1位または2位となった。「変わったことはない」は男性40代以上で回答率が高い。
- 人付き合いに関しては、男性よりも女性で回答率が高く、女性30代では1位となっている。元々男性と比べて女性の方が普段の人付き合いが多いことも影響していると考えられる。
- 男性20代は「近所の店をよく利用するようになった」「実際に体験したい気持ちが強まった」が他の世代に比べて高い。

コロナ禍前と比べて変わったと思うこと(性年代別・上位5位)

	全体(n=1008)	男性					女性				
		20代(n=107)	30代(n=103)	40代(n=98)	50代(n=103)	60歳以上(n=102)	20代(n=98)	30代(n=102)	40代(n=102)	50代(n=96)	60歳以上(n=97)
1	健康に気を遣うようになった(34.1%)	近所の店をよく利用するようになった(21.5%)	国内旅行への意欲が強まった(23.3%)	コロナ禍前と比べて、変わったと思うことはない(27.6%)	コロナ禍前と比べて、変わったと思うことはない(34%)	健康に気を遣うようになった(52.9%)	健康に気を遣うようになった(22.4%)	人と会うこと、人付き合いを億劫に感じるようになった(34.3%)	健康に気を遣うようになった(53.9%)	健康に気を遣うようになった(43.8%)	健康に気を遣うようになった(53.6%)
2	国内旅行への意欲が強まった(21.8%)	健康に気を遣うようになった(19.6%)	健康に気を遣うようになった(22.3%)	健康に気を遣うようになった(23.5%)	健康に気を遣うようになった(19.4%)	国内旅行への意欲が強まった(22.5%)	国内旅行への意欲が強まった(22.4%)	健康に気を遣うようになった(31.4%)	人と会うこと、人付き合いを億劫に感じるようになった(33.3%)	国内旅行への意欲が強まった(24%)	国内旅行への意欲が強まった(28.9%)
3	人と会うこと、人付き合いを億劫に感じるようになった(20.6%)	映像などでみるだけでなく、実際に体験したいという気持ちが強まった(19.6%)	スーツやフォーマルな服装よりも、ラフな服装でいることが増えた(19.4%)	貯金や投資をするようになった、よりするようになった(15.3%)	スーツやフォーマルな服装よりも、ラフな服装でいることが増えた(17.5%)	コロナ禍前と比べて、変わったと思うことはない(18.6%)	貯金や投資をするようになった、よりするようになった(22.4%)	国内旅行への意欲が強まった(25.5%)	国内旅行への意欲が強まった(28.4%)	人と会うこと、人付き合いを億劫に感じるようになった(22.9%)	人と会うこと、人付き合いを億劫に感じるようになった(25.8%)
4	コロナ禍前と比べて、変わったと思うことはない(15.7%)	貯金や投資をするようになった、よりするようになった(17.8%)	貯金や投資をするようになった、よりするようになった(18.4%)	スーツやフォーマルな服装よりも、ラフな服装でいることが増えた(14.3%)	国内旅行への意欲が強まった(14.6%)	近所の店をよく利用するようになった(18.6%)	自分の趣味に対する消費意欲が高まった(20.4%)	日用品などの買い物はオンラインで済ますようになった(24.5%)	行動制限がなくなった後も、以前よりお出かけしたいと思わなくなった(19.6%)	コロナ禍前と比べて、変わったと思うことはない(16.7%)	行動制限がなくなった後も、以前よりお出かけしたいと思わなくなった(23.7%)
5	スーツやフォーマルな服装よりも、ラフな服装でいることが増えた(15.5%)	国内旅行への意欲が強まった(16.8%)	自分のスキルアップのための学習や自己啓発に力を入れるようになった(18.4%)	国内旅行への意欲が強まった(12.2%)	人と会うこと、人付き合いを億劫に感じるようになった(12.6%)	多少お金がかかっても、人混みを避ける方法を選ぶようになった(17.6%)	人と会うこと、人付き合いを億劫に感じるようになった(18.4%)	貯金や投資をするようになった、よりするようになった(22.5%)	スーツやフォーマルな服装よりも、ラフな服装でいることが増えた(18.6%)	貯金や投資をするようになった、よりするようになった(14.6%)	日用品などの買い物はオンラインで済ますようになった(17.5%)

調査概要の一覧

調査実施期間			調査対象者 * いずれもインターネット調査		回答者数		主な出来事
			予備調査	本調査	予備調査	本調査	
2020	2月調査	2月21～27日	全国に居住する20歳以上の男女 * 性年代での均等割付	「2020年中に国内・海外旅行のいずれか、または両方を予定・検討している」と回答した人	6,557	1,030	全国小中高一斉休校、イベント延期・中止を要請
	3月調査	3月14～20日			6,471	1,018	東京五輪・パラ延期をIOCが承認
	4月調査	4月10～14日			6,488	1,002	全国に緊急事態宣言が発令(4/16)
	5月調査	5月12～16日			6,464	1,020	全国の緊急事態宣言が解除(5/20)
	6月調査	6月18～20日			6,407	1,060	県境をまたぐ移動を全面的に解除(6/19)
	9月調査	9月25～30日		2021年6月までに国内旅行を予定・検討している人	6,581	937	7月からGoToキャンペーン開始(10月より東京も対象)
2021	1月調査	1月20～25日		2021年中に国内旅行を予定・検討している人	6,520	984	2度目の緊急事態宣言が発令(1/4:一都三県、1/14:11都府県に拡大)
	3月調査	3月26～31日		2021年中に国内旅行を予定・検討している人	6,438	984	一都三県の緊急事態宣言を解除、大阪府「まん延防止等重点措置」適用を全国で初めて国に要請
	7月調査	7月16～23日		21年7月～22年6月に国内旅行を予定・検討している人	6,482	964	東京都と沖縄県に緊急事態宣言、東京五輪が開幕
	10月調査	10月5～13日		21年10月～22年9月に国内旅行を予定・検討している人	6,383	994	緊急事態宣言・まん延防止等重点措置が約半年ぶりに全面解除。酒類の提供等が段階的に解禁
2022	3月調査	3月25～31日		22年4月～23年3月に国内旅行を予定・検討している人	6,583	988	オミクロン株による感染拡大により22年1月より続いていたまん延防止等重点措置が全面解除
	7月調査	7月19～24日		22年8月～23年7月に国内旅行を予定・検討している人	6,561	1017	オミクロン株亜種BA-5株による感染拡大が急増
	12月調査	12月2～7日		23年1月～12月に国内旅行を予定・検討している人	6,441	985	今年夏に流行したオミクロン株亜種BA-5株の感染が少なかった地域から再熱
2023	3月調査	3月24～29日		23年4月～24年3月に国内旅行を予定・検討している人	6,406	1,008	5月に新型コロナの感染症法上の位置づけを5類に引き下げることが発表(1月)、マスクの着用は個人の判断に。

本レポートに関するお問い合わせ

株式会社JTB総合研究所

経営企画部 広報担当: 中尾、早野

メールアドレス: pr@tourism.jp